

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		グリーンヒルキッズゆりのき台				公表日	令和7年4月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用定員10名に対して、指導訓練スペースが58.3㎡あり、県の基準を満たしている	遊びのグループが複数になった時の、スペースの分配等、配慮が必要である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		基準を満たしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	適切になされている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		職員全員で毎日その日の目標を確認し、振り返りを行い、次回に生かしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		事務室や相談室等を使用することができる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	始業時・終業時に全員でその日のふりかえりと次回の目標設定を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者アンケートを実施し、保護者の意向を職員全体で把握し改善に努めている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員間での意見交換を行い、業務改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	第三者外部評価は行っていない。第三者による外部評価について今後検討していく		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		毎月1回定例の研修のほか、随時必要に応じて研修を行っている		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		子どもの特性に応じた支援プログラムを作成し、職員間で共有しているが、公表はしていない。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		6か月ごとにモニタリングを行い、保護者と面談の上、個別支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		県のアセスメント様式を参考にして、事業所独自のアセスメント様式を使用している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		1か月のプログラムを職員全員で検討し、担当職員がさらに細かいプログラムを作成している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		フォーマル・インフォーマルのアセスメントを使い、子どもの状況を確認している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		提供すべき4つの支援に基づき、具体的な支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		1か月のプログラムを職員全員で検討し、担当職員がさらに細かいプログラムを作成している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		今年度はコロナ禍で活動プログラムが固定してしまったが、その中でも工夫をこらしたプログラムを作成している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		1か月のプランの中で課題を決め、時程や活動内容を設定している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		個別・集団の活動を毎日取り入れ、計画を作成している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		毎日、支援開始前に、職員全員でその日の支援内容（活動内容・役割分担）を決め、確認している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日、支援終了後に職員全員でその日の活動の振り返りを行い、個々の支援について検討している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		6か月ごとにモニタリングを行い、個々に応じたサービス計画の見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10		基本活動を2つ～3つ組み合わせさせて支援内容を決め、活動している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		自己選択できるプログラムを複数用意し、自己決定できる支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		管理者・児童発達支援管理責任者が参加し、適時、児童指導員も加わり、子どもの支援を行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		学校との連携は学校の方針によって異なるが、児童の実態に合わせ情報共有・連絡調整等適切に行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、個別の連絡体制を整備している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	就学時支援シートによる情報共有や就学前の担当者会議を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		他のサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等用意はある	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3	適時、児童に関する相談をしている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	月1回、市の文化伝承館に出かけて他児との交流を行い、子ども食堂や社協の行事に積極的に参加することで障害のない子どもと活動を行っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		法人として統括管理者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		保護者との連携・共有理解に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	個別の相談を受けることが多く、保護者のメンタル面のサポートに努めている 月1回の茶話会で情報提供をしている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		保護者からの相談の対応に努める	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		計画作成時に保護者と面談を行い、計画に対する同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		24時間対応で家族からの悩みを受け付け、電話での相談や面談を行い助言や支援を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10		月1回父母会を開催し、保護者同士の連携づくり構築に大きな影響をもたらしている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		苦情への対応は「いち早く」を基本に対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		法人の会報（年4回）事業所からのお便り（月1回）ブログを発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		十分に注意して業務にあたっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		それぞれの特性を踏まえて、個別に配慮することに努めている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	法人が開催する地域住民との交流に参加しているが、事業所が招待することはない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		マニュアルを作成し、職員間の周知はなされているが、保護者は契約時の説明のみなので周知されていない場合がある	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		毎月1回避難訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		アレルギーの対応：エピペンの練習やてんかん発作時の対応も保護者と確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		食物アレルギー確認書を記入してもらい対応している。アナフィラキシーの児童には、保護者からの指示により対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画作成・研修などに基づき、支援を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		送迎車の取り残し装置設置や災害発生時の安全確保、交通安全等の周知をしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットの作成により、危険を察知し未然に防ぐための検討会を適時行い支援に生かしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		年間計画に基づき職員研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		身体拘束の該当する児童はいないが、そのような場合への対応も検討しておく必要があると思われる		